

未来へ語り継ごう ～「私」から「あなた」へ～

日時

8月13日 ▶ 8月15日
月 水

開催場所

滋賀県平和祈念館

お問い合わせ先

滋賀県平和祈念館

東近江市下中野町431番地

TEL:0749-46-0300

FAX:0749-46-0350

Mail:heiwa@pref.shiga.lg.jp

入場
無料



アクセス

- ・名神高速道路「八日市IC」から車で約10分
- ・JR琵琶湖線（東海道線）彦根駅または近江八幡駅乗り換え、近江鉄道八日市駅からバスで約20分「愛東支所・診療所前」下車すぐ

夏休み期間中 随時開催



1階カウンターにある
見学ワークシートにチャレンジ
すれば、
オリジナル缶バッジ
が作れるよ♪



3日間でたくさんの催しをします

戦争体験を聞く会



家族と
友達と
親子一緒に

あんどんで平和への願い



『戦争の記憶が遠ざかるとき、戦争がまた私たちに近づく』

石垣りんさんの詩「弔辞」の一節です。戦後70年の節目の年が過ぎ、以前よりも戦争や平和について語られることが少なくなってきました。しかし、世界に目を向けてみると平和とは程遠い現状が日々私たちのもとに入ってきます。だからこそ、73回目の終戦の日を迎えるにあたり、より多くの方々に当館へ来ていただき、戦時のことを学んだり、平和への願いを、語り継ぐことの大切さを感じていただきたいと思います。

来館者の声

40代 女性

(戦争体験を聞いて)お話を聞いたこと、大事にしたいと思います。私たちは、知らないことばかりで、平和な世の中を過ごしているけれど、たくさんの先人の方々の努力をしっかりと知って、これからも生きていくべきだなあと思いました。

20代 女性

(創作劇を見て)みなさんとも演技が上手でした。また来年も来たいです。今年最後の劇しか見れなかったけど、来年は一日みたいです。

50代 女性

子どもの平和の歌のコンサート、とても心を打たれるものでした。子ども達のまっすぐな歌声を聞かせていただき涙が出ました。

50代 女性

戦争体験者でない人が増えて、私自身も戦争のことを実母から聞くことも少しはありましたが、風化してきました。本当の悲惨さを知らなくても、話を聞く、映画を見ることで知識を得ることの大切さを思うことがとても重要だと思います。

70代 女性

(創作劇を見て)迫力のある演技で思わず涙ぐみました。私は終戦の年、4歳、B29や防空壕に入った記憶と、物のない時代に子供時代生きてきました。絶対に、絶対に戦争はダメです。歌いながらも泣けてきました。

20代 男性

戦時中のことは、話を聴いたり、書籍を読んだりするしか知識を得られることはできません。ただその中で、実際に体験されたお話は、現実のリアルな描写・内容でたくさんの方に知っていただきたいと思いました。

10代 男の子

戦争というのは、たくさんの命をうばい、たくさんの人々をかなしませるものだと、あらためて、気づきました。

10代 女の子

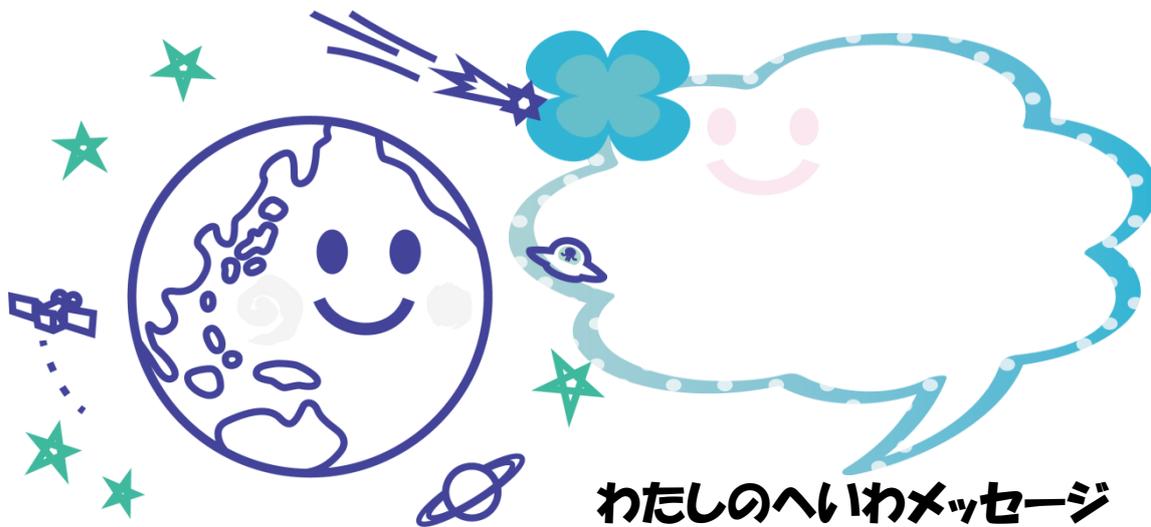
わたしは、こういう戦争を体験していないので、今日のえいがを見て戦争ってこの世にあってはならない出来事なんだとあらためて感じました。もし、また戦争がおこってしまったときは、みんなで協力し合い自分の命を大切にしたいと思います。

40代 男性

子どもたちと共に家族で来ました。戦争のことを考える良い機会を与えていただき、ありがとうございました。アニメで子どもたちにとってもわかりやすかったと思います。戦後70年以上が経ち、戦争の悲惨さを忘れかけている私たちがいると思います。こういった戦争を学ぶ機会が重要です。

今年もぜひお越しください

イラストに色をぬって、ふきだしにへいわへのメッセージを書いてね♪



完成したら、
13~15日のあいだに
滋賀県平和祈念館へ
持ってこよう！
みんなの思いを
パネルに貼っていくよ

わたしのへいわメッセージ

催し案内

戦争体験を聞く会

各日14:00開始
2階研修室

13月 稲垣 澄子 さん (昭和3年生まれ 米原市 在住)

「戦争がなかったら… ～語り継ぐことの大切さ～」 女学校での学徒動員のお話、特攻機づくりにかかわったことや戦時中の様子について、8月15日「あの日」のできごとなど戦時中のご自身の体験と、戦後食べる物が十分になかった毎日に必死に生き抜いたご姉弟の様子、そしてさまざまな言葉が身にしみたことについてお話いただきます。

14火 山中 隆一 さん (大正10年生まれ 甲賀市 在住)

「得撫島から北サハリン・オハ捕虜収容所へ」昭和19年、22歳で召集され、防空隊に入隊。その後、得撫島での塹壕掘りや南樺太での防空監視、また箱型爆弾を抱いての突入訓練を受け、出撃前に終戦を迎えた時のことや、その後、捕虜として、北サハリン・オハ捕虜収容所で抑留されていた時のことについてお話いただきます。

15水 北川 喜一郎 さん (大正12年生まれ 愛荘町 在住)

「フィリピン フガ島での通信部隊としての体験」昭和19年4月に敦賀第19聯隊に入隊。その後、フィリピン・フガ島に上陸され、通信隊として戦地をくぐられた日々の出来事を中心に、爆撃やゲリラとの遭遇、焼夷弾によるあたり一面火の海と化した戦地、そして終戦を迎え、捕虜としての日々を送られたことなどについてお話いただきます。



映画上映会



2階研修室

13月 10:00~11:50
白い町ヒロシマ 出演: 山口崇、菊崎志保、乙羽信子、橋本功 他

学童疎開中に広島原爆で母と姉、弟を失った体験をつづった主婦。平和を破壊する戦争への怒りを、親兄弟を失った子供たちに、愛と豊かな心を持たせようとする教師を通して描く。

14火 10:00~10:50
特攻 なぜ拡大したのか NHKスペシャル

太平洋戦争末期、日本軍がアメリカ軍に対して行った体当たり攻撃、特攻。昭和19年10月に始まった特攻は、終戦までのあいだに急激に拡大する。日本軍の機密資料と証言から、特攻作戦の拡大の軌跡をたどる。

15水 10:00~11:50
ゆずり葉の頃 出演: 八千草薫、仲代達矢、岸部一徳 他

市子が少女の頃に思いを寄せていた人は、今では国際的な画家となっていた。彼の個展の記事を目にした市子は、思い出の一枚の絵を求め、軽井沢へと旅立つ。戦後の貧しさの中で、着物の仕立てをしながら過ごした若き日の母の思い…。軽井沢で人のぬくもりに触れ、次第にほぐれてゆく市子の心…。

子ども映画上映会

2階多目的室

13月 11:00~11:50
凧になったお母さん

昭和20年夏、B29が落とした焼夷弾が街を火の海に変えてしまった。そんな中、カッチャンはお母さんに連れられなんとか近くの公園に避難できたが…

14火 10:00~10:50
ぼくの防空壕

ゆうちゃんの家には、お父さんと一緒に造った防空壕があった。ある日、防空壕に避難していたら、突然壁の向こう側から出征しているお父さんが現れた。驚きながらも壁を通り抜けると…

15水 10:30~11:45
焼跡の、お菓子の木

ある日、体の弱い友人・春男から1冊の本をもらう。そこには、「パンの木」1本あればみんなお腹いっぱい食べて暮らしていけると書かれていた。もしかしたら「お菓子の木」だって…と夢を見る太一たち…

八日市児童合唱「スマッシュ」ミニコンサート



14火 13:00~13:30 2階研修室

平成18年に歌の好きな子この指とまれ!の呼びかけで数名から誕生しました。スマッシュは、当時のメンバーのイニシャルから名づけ、現在は幼稚園から高校生までのメンバーで活動しています。滋賀県少年少女合唱祭には毎年出演させて頂き、この19日にはびわ湖ホール大ホールで演奏します。スマッシュは、さまざまな所で歌った経験を活かして、歌う喜びを会場の皆様と元気・希望・感動が共有できることを求めています。ただいま団員を募集しています。随時見学もお待ちしております。

曲目
「いのちの歌」「折り鶴」「青い空」 他

わ音(わおん)ミニコンサート

15水 13:10~13:40 2階研修室

2008年。当時、森野裕香里は滋賀県立盲学校療養科で三療(鍼灸・マッサージ)を学んでいました。井上克己がその年の4月に寄宿舎指導員として盲学校に赴任し、二人は出会いました。2012年に「わ音」を結成。親子ほど年齢の違う二人ですが、人と人とのつながりを大切に音楽を楽しんでいます。

主な活動は、敬老会や人権講座などの地域の行事や、学校の人権学習会などに出演させていただいております。



曲目
「だいじょうぶ」「いのちの理由」 他

当館ボランティア演劇グループによる創作劇

14火 11:00~11:50 2階研修室

演劇グループは、現在11名のスタッフで活動しております。昨年度は、創作劇9回、紙芝居9回と、県下18か所の地域で出張公演させて頂きました。今年度は新たに2作目の創作劇に取り組み、練習を重ね、発表の機会を迎えました。未熟な点多々ございますが、スタッフ一同心を込め、精一杯演じますので、ぜひご来館下さいませよう、ご案内申し上げます。



地元密着! 催し 2階研修室

13月 13:00~13:30
バンド「ワッショーレ」

たまたま知り合ったワシとオレの2人が、平和への願いを込めた歌や平和な時代だからこそ歌える歌を、ギターの弾き語りでお届けします。皆さんも一緒に歌って下さいね。

15水 13:00~13:05
グループ「福ちゃん」

歌 寸劇 「岸壁の母」
学徒動員で出征した息子を、引揚船の興業丸が舞鶴港に着くのを待ちわびる母の姿を歌います。

日程スケジュール

くわしい内容は、案内をご覧ください

8/13

月

- 10:00-11:50 ▶ 映画上映会 **白い町ヒロシマ**
- 11:00-11:50 ▶ 子ども映画上映会
アニメ **凧になったお母さん**
- 13:00-13:30 ▶ 地域バンドによるミニコンサート
出演 / ワッショーレ
- 14:00-15:30 ▶ 戦争体験を聞く会
稲垣 澄子 さん（昭和3年生まれ）
「戦争がなかったら・・・語り継ぐことの大切さ」

当時の様子を聞こう

8/14

火

- 10:00-10:50 ▶ 映画上映会 **特攻** なぜ拡大したのか
NHKスペシャル
- 10:00-10:50 ▶ 子ども映画上映会
アニメ **ぼくの防空壕**
- 11:00-11:50 ▶ 当館演劇ボランティアによる **創作劇**
- 13:00-13:30 ▶ ミニコンサート
出演 / 八日市児童合唱団スマッシュ
- 14:00-15:30 ▶ 戦争体験を聞く会
山中 隆一 さん（大正10年生まれ）
「得撫島から北サハリン・オハ捕虜収容所へ」

平和ってなんだろう

8/15

水

- 10:00-11:50 ▶ 映画上映会 **ゆずり葉の頃**
- 10:30-11:45 ▶ 子ども映画上映会
アニメ **焼跡の、お菓子の木**
- 11:55-12:10 ▶ 平和を祈念するセレモニー
・黙祷・館長の平和メッセージ
- 12:15-13:00 ▶ 当館ボランティアによる **戦時食提供**
- 13:00-13:05 ▶ 地域グループによる催し **出演/福ちゃん**
- 13:10-13:40 ▶ ミニコンサート **出演 / わ音**
- 14:00-15:30 ▶ 戦争体験を聞く会
北川 喜一郎 さん（大正12年生まれ）
「フィリピン フガ島での通信部隊としての体験」

100食限定